

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28 年 10 月 5 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100686		
法人名	医療法人 好縁会		
事業所名	グループホームふれあい段原山崎		
所在地	広島市南区段原山崎 2 丁目3-8 (電話) 082-282-1077		
自己評価作成日	平成28年9月12日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100686-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年9月29日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>○ 生活歴・個別性に目を向け、ご利用前の生活ができるだけ継続して行え、ご本人・ご家族の願いや想いを形にしていけるよう努めている。</p> <p>○ ご利用者の笑顔を大切に、職員一人ひとりが提案し、日々行動に移している。</p> <p>○ 個別支援、外出支援はもとより、日々の生活でご利用者の気持ちに寄り添い、集団生活での窮屈さや苦痛を感じることなく生活できるよう、細やかな所にも配慮ができる職員の育成を目指している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用前の生活が継続できるように、生活歴の把握に努め、個別の要望に応えることとしている。例えば、墓参や大事な行事では自宅に帰るなどを、一緒に出来るよう支援をしている。一人ひとりの笑顔を引き出すために、個別にあったプログラムの提案や、日々のささいなことへの気づき出来るようになる職員教育に力を入れている。また、毎日のケアの中では、出来るだけ外気に触れることが出来るように努力している。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	基本理念及び「好縁会生活作り10カ条」を主軸に、管理者と職員はその意図とするところを共有し、実践につないでいる。朝礼時には全員で復唱し、一日の目標を立て、サービスを提供している。	事業所においては、「生活づくり10カ条」を事務所に掲示して、提供するサービスの基本となるように、朝礼時に読み合わせをしている。人として当たり前前の事を継続していく事で、退院後の自立につながっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入会し寄り合い、婦人部の清掃等に参加している。地域の行事などに参加し、地域の方々との接点を持てるよう心がけている。挨拶への気配りにも注意している。オレンジカフェにて、地域の方に施設を開き、気軽に介護の相談などを受けられる体制をとっている。認知症サポーター養成講座など、地域包括支援センターと連携し、認知症の理解を深める機会を持っている。	町内会の会合、清掃や盆踊り、公民館祭り等、地域の行事へ参加を積極的に行っている。「オレンジカフェ」を月1回開催しており、気軽に相談が出来る体制作りをしている。参加しやすい環境整備に向けて、開催場所の変更をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	玄関先で、施設に興味を示している町内の方には、こちらから声をかけさせて頂き、話を伺っている。地域貢献できる機会を逃さないよう、住民の声を真摯に受け止めて、意見等を反映させていきたい。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は二ヶ月に一度行い、事業所の状況やサービスの実際を伝えていく。又、ご利用者の日常の様子を写真で見ただき、参加者との話し合いの機会を設けている。ご意見やご要望は早急に対処・改善に努め、サービスの向上に心がけている。	運営推進会議の出席者より、老人会からも出席いただきたいとの要望があり、意向を取り入れたことで、地域の高齢者の状況の詳細が把握できるようになった。また、道路を挟んでの同一法人の事業所と合同で会議を開催し、情報の交換をしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議には地域包括支援センターの方に参加して頂き、情報交換を行っている。又、段原地域連絡会へも参加させて頂き、関係機関との連携を深めている。	「地域ケア会議」への出席により、関係機関との連携が取れている。地域包括支援センターとは、運営推進会議において情報の交換をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止・虐待防止を含めての、事故防止委員会を設置している。絶対に行われないよう意識の徹底と周知を行っている。</p>	<p>身体拘束禁止・虐待防止委員会を3ヶ月に一回、開催している。玄関を出ると直ぐに車道となっていることから、安全への配慮を優先し、時間帯によっては玄関の施錠をしているが、チャイムで直ぐに対応できるように工夫されている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>身体拘束廃止・虐待防止を含めての事故防止委員会を設置し、定期的に会議を行い、内容は回覧し、全職員で周知徹底し、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見人制度を利用されているご利用者がおられ、連絡を密にとっている。又、後見人とは定期的に面会を頂き、アドバイスやご要望に対処している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書や重要事項説明書に基づいて、ご利用者、ご家族に説明している。変更が生じた場合も、その都度説明している。また、不安や疑問点について伺い、ご理解が頂けるよう説明している。迅速に、誠意を持って対応できるよう心がけている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご利用者毎に担当をつけ、要望や意見を表せるよう、個別にゆっくりとコミュニケーションをとり、担当以外の職員とも話し合いを重ね、意見や要望を見落とさないようにしている。ご家族の面会時には積極的に声かけを行い、得た情報は記録に残す等し、職員間での共有を図っている。また、話しやすい雰囲気作りに努め、意見交換を行い、運営に反映させて</p>	<p>利用者1人ひとりに担当を決めて、意見や要望を言いやすいような関係作りをしている。最近の意見として、「2フロアに1名はリーダーが出勤しているようにしてほしい」とあり、シフト組みの時に意識して組むようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度、各フロアでミーティングを行い、業務に関する意見や改善点を話し合い、議事録を回覧し、全職員で共有している。また、参加できない職員については、疑問点や意見をあらかじめ提出してもらい、ミーティングで話し合う仕組みにしている。ミーティング以外でも気づいた事があれば、話し合い、対策・改善している。	月に1回のフロアミーティングにおいて、改善点や意見を出し合うようにしている。時間帯によるスタッフの配置、休憩場所の確保など、最近の意見から話し合い、改善している。出席できないスタッフについては、事前にリーダーへ意見、提案が出来るように配慮している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員が年度目標（チャレンジシート）を作成し、目標達成に取り組んでいる。又、評価表を用いて、各職員の努力や実績を評価している。四半期に分けて個人面談を行い、進捗状況に合わせた課題を出し、意欲の向上へと努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内に研修委員会があり、内部研修（ステップアップ研修）が頻繁に行われている。外部研修に関しても、研修費補助や勤務内研修が認められ、参加しやすい体制が整っている。事業所内でも、法人内の介護アドバイザーによる研修を行い、スキルアップを図っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修にて、他事業所の方と意見交換する機会がもてている。当法人のグループホームの紹介を兼ね、関係事業所への訪問を行なっている。又、同業者からの見学・問い合わせも受けている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご利用前に管理者、フロアリーダー、看護師が訪問し、関係作りを開始している。可能な限りご本人様の不安や思いを伺い、少しでも不安を取り除けるよう努めている。担当職員を中心に、全職員で関係作りに取り組み、安心感の醸成に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族の不安やご要望など、十分に話を伺い、誠意を持って受け止め、安心してサービスを受けていただけるよう努めている。ホームでの様子を撮影した写真に手紙を添え、毎月、送らせて頂き、信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	アセスメント表を活用し、まず必要とされるサービスの見極めを行い、本人・ご家族との合意の上、支援へとつないでいる。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	可能な限り共に過ごし、主体性のあるその人らしい時間を大切に頂けるよう、努めている。より添い共にある馴染みの関係を目指し、安全・安心の生活ができるよう努めている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者の体調や様子を細かくお伝えし、ご家族の不安や心配ごとを伺い、ケアの方向性を一緒に考え、支援している。ご家族との関係を再構築する為にも、ご家族との外出や外泊などの支援を行なっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの方が来所された時には、話しやすい雰囲気を作ったり、会話の橋渡しをしている。又、利用後も馴染みのご友人との習慣を継続して行って頂いたり、通い続けていた病院へも、定期的に通ったりと、関係が途切れないように努めている。	面会者があつたら、各自の居室でゆっくり出来るように配慮をしたり、必要であれば同席もしている。行きつけの美容院やラーメン屋への外出も、ドライブがてら実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事の席は、利用者様同士の相性や話しやすさを考えて配置し、食事以外の時間にも孤立を防ぐため、家具の配置などリビングの環境に配慮している。又、より良い人間関係作りのため、職員がコミュニケーションの間に入り、意思疎通の手伝いをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居されたご利用者のご家族が、施設に来訪されたり、お手紙を頂いたり、サービスが終了しても、これまでの関係性を保てる環境を作っている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各担当者が中心となって、本人の思いを聴き出せるよう努めている。ご本人が話された内容は記録に残し、全職員が共有できるようにしている。本人のこれまでの生活習慣に近づけるよう、情報収集を行い、馴染みの場所や趣味の場所に足を運べるよう、個別外出支援も行っている。	各担当者は、思いや要望を把握したら記録に残し、家族と話し合いをして、実行できるように取り組んでいる。利用前のアセスメント、利用後の心の変化を担当者は細かく観察して、本人本位に生活支援が出来るように努力している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族からの情報提供を基に、基本情報やアセスメントシートを作成・活用し、ほぼ把握できている。縁者の方々等からも、より詳しくうかがったり、生活場面や本人とのコミュニケーションの中からの把握にも努めている。本人の人生史も重視し、サービスに繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	主として毎日の様子を、日常生活記録と個別記録に記録し、全職員が把握し、心身の状況の変化があれば、明確に分かるよう連携を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメントを行い、ご本人やご家族と話し合いの上、課題抽出をし、目標を見据えたケアプランを立てている。毎月モニタリングを行い、見直しをしている。ご家族とは、来所時に現状や取り組み内容などを伝え、ご意見等を聴き、ケアの参考にしている。</p>	<p>担当者がアセスメントからプラン作成までしている。家族からの聴き取りは、来所時に現状を伝えたり、意見などを参考にしている。</p>	<p>介護計画作成時に、本人、家族、各専門職が参加してのカンファレンスを実施したり、個別の介護計画の作成に向けて、本人、家族を含む、多職種チームとの連携をとることで、本人、家族の納得できるケアプランが作成されることを期待します。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常生活記録と個別記録を主な記録とし、心身状態の変化・プラン実施状況・生活状況・会話等を詳しく記録に残している。職員は記録を共有し、ケアプラン作成やモニタリングに反映させ活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>既存サービス外と思われるニーズに対しても、可能な限り対応している。個別外出支援をはじめ、入院時の対応など、突発的な出来事が発生した場合も、柔軟なサービスを展開している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>お墓参りや、馴染みだった店や場所に出かけている。夏には、近所のアイスクリーム屋さんに出かけてみたり、広告で見つけたお弁当やお好み焼きを注文してみたり、その時、その時を楽しんでいる。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>運営母体のクリニックを、ご利用者の全員が主治医とされているが、ご本人とご家族の希望で、専門分野では他の病院を受診されている方もいる。いずれの場合も、ご本人とご家族の要望に沿った医療が受けられるよう、連携を図りながら支援している。</p>	<p>週1回の往診、定期的な健康診断は、運営母体の医療法人により行っている。家族や本人が希望すれば、他の医療機関への受診手配も行うことができる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	24時間、いつでも連絡が取れる体制になっている。常時、看護師と連携を図り、症状に合わせた適切な受診や看護を支援し、医療面での協働を保っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時には、安心して入院生活を送っていただける様、また早期の退院に向け、ご本人、ご家族、医療関係者と話しあう機会をつくり、連携に努めている。また、入院中も可能な限り様子を伺いに通うなどし、病院関係者との情報交換、関係づくりに努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	終末期の指針と称し、ご家族・主治医・関係者が話し合い、方針を共有し、書面にて事前確認させて頂いている。重度化・終末期・体調の著しい変化が生じた場合は、その都度、主治医・看護師・ご家族と話し合いを行い、今後の方針をもとに立てている。	契約時に、終末期指針の説明をしている。その上で、重度化に伴い、家族への説明が必要と判断した場合は、主治医より説明をして家族の意向に添い、以降の方針を立て、看取りの同意書作成をしている。24時間対応の訪問看護の導入など、医療との連携など、チームで看取る体制がある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	全職員が、消防署へ救急救命講習に行くなど、急変時の実践・対応へ備えている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	グループホーム内での災害時避難訓練は、消防署の方を招き、消防署員から防災・災害時の対策について指導も受けている。又、地震・津波を想定した、比治山学区避難訓練にも参加させて頂き、緊急時の心得となった。	運営推進会議に合わせて、年1回は消防署員の立会いで、消防避難訓練を実施している。地域訓練としての地震、水害訓練にも参加して、防災意識を高めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	尊厳の保持を念頭に置いた言葉がけや、対応をしている。人生の大先輩として、敬うことをケアの場面において徹底、実践している。ご利用者に対して指示的な言動にならないよう、職員同士も互いに、注意し合っている。	特に、言葉がけへの注意を意識している。命令的な言葉、幼児語、愛称で呼び合うなど、日常的な職員同士の会話においても禁止としている。高齢者を、人生の大先輩として敬う事を、日々のケアの中でも注意し合うことの出来る環境づくりをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の思いや感情を、自由に表出できるような雰囲気作りを行い、コミュニケーションを図っている。その人らしい生活を支えるための知識・技術を学び、人的・物的両面から、自己決定ができるよう工夫を重ねている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	可能な限り、その方の生活リズムやペースに沿えるよう支援している。本人の思いをくみ取り、寄り添いのケアに力を入れている。訴えや要望がある場合は、その都度対応し、なるべくその方のペースが守れるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	食べこぼしや、口周りの汚れ等に配慮し、気持ち良く過ごしていただけるよう支援している。月に一度、訪問理美容が入っており、その方の好みの整容がされている。外出時には、口紅やマニキュアなどを塗って、おしゃれを楽しむこともある。いつでもご家族や友人に会ったり、外出できるように気を配っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニュー決め、調理の下準備や盛り付け、配膳・下膳、食器洗いを、ご利用者に手伝って頂いている。職員も同じものを一緒に食べ、楽しい食卓の雰囲気作りをしている。また食事の時の座位や、テーブルとの距離が適切になるよう細やかに支援している。	調理、片付け等、出来るところは一緒にしていただくようにしている。3食とも職員も一緒に食べる事で、食事を通じて会話が生まれ、食事を楽しめるように工夫している。月に1回程度は外食をして、変化を楽しむようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>管理栄養士、看護師との連携を図り、連絡、相談を行い、栄養指導を受けている。食が進まないご利用者には、ご本人の食べたい物・飲みたい物を見つけ、提供している。水分摂取の重要性について、全職員が理解し、適切な量を摂取できるよう取り組んでいる。栄養補助食品も導入し、提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>訪問歯科と連携を図り、口腔衛生に努めている。毎食後、ご利用者の状態に合わせて、口腔ケアの声かけ・介助を行っている。夜間は義歯をお預かりして、義歯洗浄を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンや習慣を把握し、基本的におむつを使用しない。排泄パターンに合わせて、時間で誘導するなど、排泄の失敗がないように努めている。必要がなければ、紙パンツもできるだけ使用せず、布パンツでの対応をしている。自立支援と並行し、気持ちのよい排泄を目指している。</p>	<p>基本的に、オムツをしない事としている。起きれる人、座れる人は、オムツをはずしてトイレに座って排尿、排便をする事が、自立支援の基本と考えており、立ち上がり補助のテーブルを、一部のトイレに設置している。結果として、利用者の3割が普通パンツ、7割がリハビリパンツを使用している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>医師、看護師、管理栄養士と連携をはかり、便秘予防、対応、対策を行なっている。食後のトイレ誘導や、水分摂取への気配り他、適度な運動を取り入れて対策している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>可能な限り、希望に沿った入浴方法・習慣を大切に支援に努めている。時間帯は問わず、ご本人に合わせた入浴のお誘いや、同性の職員で入浴介助を行うなど、個々に合わせて支援を行っている。</p>	<p>週2回を基本として、入浴をしている。1日に3人程度は、午後から入浴していただいている。季節のゆず湯、入浴剤など、好みがあれば対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>ご利用前の生活スタイルを崩さ ないよう、起床時間をご本人の 要望に合わせて、居室で休ん でいただけるよう支援している。 夜間しっかりと休んでいただく ため、居室の環境整備に努め ている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努め ている。</p>	<p>職員は内服薬リストなどを活用 して、状況をほぼ把握している。 職員間での連携を密にとり、 症状の変化を見逃さないよう にしている。服薬管理には意 識して、確認の徹底を図り、 慎重な対応をしている。医療 との連携は密に行われている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分転 換等の支援をしている。</p>	<p>習字、歌を歌うこと、編み物、 散歩など、利用以前にされて いた趣味や、得意だったこと をご本人やご家族からお聞き し、利用後も継続してできる よう支援している。ご自宅へ の一時帰宅など、ご本人が 希望されれば、浴うよう努 めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力し ながら出かけられるように 支援している。</p>	<p>個別支援として、墓参り、野 球観戦、自宅への里帰り、 好きな作家の個展鑑賞、海 へのドライブ、ショッピング など、個別性の強い外出支 援に取り組んでいる。日常 では、天気の良い日は散歩 に行き、屋外で日光浴をし ながらお茶を飲むなど、 外の空気に触れるよう支 援している。</p>	<p>実習生やインターンシップの 学生に手伝ってもらいなが ら、墓参り、野球観戦、 里帰り、美術展、海への ドライブ、ショッピング等、 個別の希望を聞きながら 行っている。地域のボラン ティアからも、手伝いたい との申し出があり、協力 を頂いている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの 支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つ ことの大切さを理解して おり、一人ひとりの希望 や力に応じて、お金を 所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>希望や能力に応じて、ご 家族の了承の上で、ご 本人に管理して頂いて いる。必要に応じて買 い物ができるよう、ご 家族にも協力を仰いで いる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望に沿って、電話をかけて頂いたり、取次ぎを行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	生花や造花、季節の置物などを飾り、季節感を出している。リビングから見える庭に花壇を作り、四季の変化を感じて頂いている。 馴染みの空間作りができるよう、ご利用者が使う物や家具の配置は、できるだけ変えないようにしている。	一階は、吐き出し窓から中庭に出る事が出来るようになっており、四季を感じる事ができる。2階では、プランターで季節の野菜を育てたり、花を植えたりしている。壁面には、利用者の作品が展示してある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	一人ひとりのお気に入りの場所があり、気の合う方と楽しく過ごせるよう、家具の配置などを工夫している。一人になりたいときは、少し離れたソファで過ごせるように配慮している。一人で居室で休む時間、リビングで皆と過ごす時間を、ご本人の希望に合わせて支援している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内の家具や持ち物は、ご本人の使いなれた馴染みの物をお持ちいただくようお願いし、なるべく以前のお住いに近い形で、安心して過ごして頂けるよう取り組んでいる。ご家族の写真や、思い出の品も自由に持ってきて頂き、自由に居室をレイアウトして頂いている。	なじみの家具や調度品を可能な限り持ち込む事ができ、自分の部屋としての環境を作る事が出来るようにしている。以前の作品や写真を飾ったり、好みの絨毯を敷いたり、居心地良く過ごせる工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	一人ひとりの得意な事を活かして、計算問題や刺し子など、ご本人の意思で行って頂いている。ご利用者が使うものは置く場所を固定し、いつでも使用して頂けるようにしている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふれあい段原山崎

作成日 平成28年10月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ケアプラン作成に家族の意向を取り入れられていないケースがある。	ご家族の意向を取り入れてケアプラン作成を行う。	遠方の家族でもカンファレンスの際は意向が反映されるよう事前に確認を行う。カンファレンスの際はなるべくご参加いただけるようお声をかけさせていただく。	3か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。